

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	夜勤者が1人のため、今までも通報訓練は行ってきたが、消防署や一番近い職員の到着までの間の動き、また、地域の方に協力していただく場面を具体的には考えていなかった。また、去年の大震災での教訓から、職員の連絡がとれない場合の自主集合基準を考えたい。	夜勤が一人の為、夜間火災時、消防署や他職員が到着するまでの時間を考えての避難誘導の仕方、また地域の方との協力を得る部分の計画の策定。また大震災時、通信連絡が途絶えた時の職員による自主集合の基準を決める。	1、職員の到着時間を測定する	1ヶ月
2				2、夜間を想定した避難訓練の実施。今までの通報訓練に加え、消防署や職員が到着するまでの間の動きと、地域の方に協力を依頼する場面を入れる。	8ヶ月
3				3、運営推進会議で、地域の方や行政、他のグループホームから大震災の情報を収集し、自主集合の基準を決め、職員全体に周知する。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。